

科目名	ひろしま論
単位数	2.0
担当者	代表教員:副学長 渡辺智恵 担当教員:國本善平、佐藤武、竹澤雄三、吉川元、西正博、本田美和子、松井一實、秋山伸隆、山田晃三、田城明、土肥幸美、別府耕太、松本洋二、大芝亮、中村圭
履修時期	前期
履修対象	1・2年次
講義形態	講義
講義の目的	広島歴史、行政、経済、産業、文化についての解説を通して、その特色を学び、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識を身に付ける。また、国際平和文化都市広島発祥の地である被爆体験および広島からの平和の取り組みについても理解する。
到達目標	・広島歴史、行政、経済、産業、文化の特色について説明できる。(知識)(思考力) ・広島が行っている平和の取り組みについて説明できる。(知識)(思考力)
受講要件	特になし
履修取消の可否	可
履修取消不可の理由	
事前・事後学修	・事前学習として、講義のテーマに関連すると思われる情報にアクセスする。 ・事後学修として、講義中に紹介された資料や文献を読んだり、ウェブサイトへアクセスすることにより、理解をさらに深める。
講義内容	1 7つのエピソードで読み解く広島の都市空間 【講師 國本 善平:広島市立大学特任教授】 2 ヒロシマと映画 【講師 佐藤 武:広島市映像文化ライブラリー 主事【映像文化専門官】】 3 ヒロシマの美術～破壊と蘇生～ 【講師 竹澤 雄三:美術評論家】 4 広島カープと広島アイデンティティ 【講師 吉川 元:広島市立大学平和研究所特任教授】 5 災害に強い広島の実現に向けて 【講師 西 正博:広島市立大学情報科学研究科教授】 6 広島湾沿岸部の土地開発史 【講師 本田 美和子:広島城学芸員】 7 広島の「まち」の持続的な発展に向けて 【講師 松井 一實:広島市長】 8 宮島における戦争と平和 【講師 秋山 伸隆:広島市立大学外部理事】 9 「広島のことろ」とデザイン?生命からの視座? 【講師 山田 晃三:月影デザインコンサルティング代表】 10 続く「核」脅威の下で?被爆体験を持つ人類史的意義と被爆地広島? 【講師 田城 明:(株)中国新聞社客員特別編集委員】 11 ヒロシマを身近に考える 【講師 土肥 幸美:広島平和記念資料館学芸員】 12 広島からグローバルへ～『走る歓び』で世界へチャレンジする～ 【講師 近藤 昌晴:マツダ(株)グローバル販売&マーケティング本部長】 13 広島ゆかりの作家 【講師 松本 洋二:公立大学法人広島市立大学経営協議会委員】 14 広島とピース・ツーリズム 【講師 大芝 亮:広島平和研究所所長】 15 「基町プロジェクト」基町の新しい魅力をつくる 【講師 中村 圭:広島市立大学芸術学部准教授】
期末試験実施の有無	実施しない
評価方法・基準	毎回、所定の受講票に感想等の記入を課す。受講票の提出は、講義終了後退室するまでとし、後日提出は認めない。受講票不提出は欠席として扱う。 成績評価は、各回の感想等を内容と分量により0点から4点の範囲で採点し、その合計点により評価する。 6回以上欠席した場合は、「欠席による不可」とする。
教科書等	教科書:特に指定しない。 参考書:講義内で参考文献を適宜指示する。
担当者プロフィール	
講義に関連する実務経験	広島市長ほか
課題や試験に対するフィードバック	課題提出を求めると試験は行わない。
アクティブ・ラーニング	

キーワード	広島、歴史、行政、経済、産業、文化、平和
備考	